令和４年度

筑波医療福祉専門学校　学校自己評価結果報告書

令和５年４月１日

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン

（平成 25 年）準拠

1. 学校の教育目標（令和 4 年度）

● ビジョン

地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる

● ビジョンの実現に向けたテーマ

地域社会から必要とされる学校になる

地域社会から必要とされる人材を輩出できる学校になる

● 学校経営スローガン

智・徳・美・体のバランスのとれた対人援助専門職の養成

そして何よりも心の優しい人材を養成する

● 重点教育目標

鍛えて伸ばす授業の実践と国家試験及び各種検定試験の合格率 100%を目指す

在学生の希望する就職先への就職率 100%を目指す

学生募集の強化（介護福祉学科 20 名、医療事務学科 10 名を最低ラインとする）

● 具体的な対策

授業の充実と教育の質の向上

国家試験及び各種検定試験対策指導の充実

留学生への効果的な指導体制の構築

積極的な学生募集（幅広い層からの募集）

● 地域社会との関係

ビジョンの具体化

各関係機関等との連携強化と学生に還元できる取り組みの推進

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

● 学生を鍛えて伸ばす指導の推進と国家試験及び各種検定試験合格率の向上

● 各学科長のリーダーシップと行き届いた職員指導

● 報告・連絡・相談の徹底

● 留学生の組織的・計画的な指導の充実

● 新ビジョンに基づく学校・各関係機関等との連携強化と具体化

● 積極的な学生募集（幅広い層からの募集）

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	4　③　2　1
・学校における職業教育の特色は何か	4　③　2　1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4　③　2　1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4　③　2　1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4　③　2　1

① 課題

［　　］

② 今度の改善方策

［　　］

③ 特記事項

［　　］

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4　③　2　1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4　3　②　1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4　3　②　1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4　3　②　1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4　3　②　1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4　③　2　1

・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4　③　2　1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4　3　②　1

① 課題

方針や事業計画について詳しく把握しないまま新しい学期を迎えている

② 今度の改善方策

学園としての方針や学校としての方針、目標を伝えてほしい

③ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4　③　2　1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4　③　2　1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4　③　2　1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4　③　2　1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4　③　2　1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	4　③　2　1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4　③　2　1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4　3　②　1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4　③　2　1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④　3　2　1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4　③　2　1

・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4　③　2　1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4　3　②　1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4　3　②　1

① 課題

教員の数が少ない。同じ教員ばかりでは指導内容に偏りがでないか不安である。

② 今度の改善方策

非常勤等の参入をもう少し増やしてほしい。教員の能力開発のための研修の充実。

③ 特記事項

講演会などに参加できると良い。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4　③　2　1
・資格取得率の向上が図られているか	4　③　2　1
・退学率の低減が図られているか	4　3　②　1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4　③　2　1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用さているか	4　3　②　1

① 課題

授業についていけない学力、態度の良くない学生等が増えている。卒業後に取りこぼしの資格取得のフォローや転職時のフォローを卒業後も行えると良い。

② 今度の改善方策

卒業後の資格取得、転職時のフォローを行える体制の構築を図る。

③ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4　③　2　1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4　③　2　1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4　③　2　1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4　③　2　1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4　3　②　1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4　③　2　1
・保護者と適切に連携しているか	4　③　2　1
・卒業生への支援体制はあるか	4　③　2　1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4　③　2　1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4　③　2　1

① 課題

学生の相談等、私物のスマホを使うことになる。求人票を紙以外でも見られる仕組みが必要。

② 今度の改善方策

パソコンのツールを使用する。学生 ID を使用し学生閲覧サイトから求人や相談ができるシステムの構築を図る。

③ 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4　3　②　1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4　③　2　1
・防災に対する体制は整備されているか	4　③　2　1

①　課題

学生が自由に過ごせるスペース（ラウンジ）があると良い。設備の劣化。

② 今度の改善方策

図書、トイレ、机、椅子等の劣化が目立つので順次整備が必要。

③ 特記事項

介護の学校なのでバリアフリー対応できることが望ましい。特に図書とトイレの改修が優先と考える。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

① 課題

社会人へのアプローチ。

② 今度の改善方策

現在行っているアプローチ方法が分からない。

③ 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 ③ 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 ③ 2 1

① 課題

聞いていないので分からない。

② 今度の改善方策

財務状況を公開し、周知を図る。

③ 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 ③ 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1

① 課題

個人情報を扱うの書類が多いため、シュレッダーを導入していただきたい。

② 今度の改善方策

早急にシュレッダーを導入し対応を図る。

③ 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の委託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

② 今度の改善方策

[ ]

③ 特記事項

[ ]

(11) 国際交流(必要に応じて)

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 ② 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 ② 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 ② 1
・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 ② 1

① 課題

[留学生をサポートするための専門職員がいない。今後多くの方が入学した際、既存の職員では限界がある。留学生へのアプローチ。]

② 今度の改善方策

[どこの国の人が多いかにもよるが母国を知る人がサポート職員としていると留学生も心強いと思う。]

③ 特記事項

[コロナの影響で留学生の受入れが少ない状況。アプローチとしては県内の日本語学校からの受入れを中心に訪問し留学生募集を図る。]

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年まで課題であった Wifi 環境の整備が次年度完成する予定。教員数が少なく不安を感じていることもあるので、非常勤での教員で対応検討する。学校関係者評価でも指摘された図書室の整備が急務と思われる。また、トイレや机、椅子等の劣化も激しく、改修や入替が必要と考える。留学生に関しては受入れの強化はもちろんであるが、施設の理解を得ながら進めていかなければならないと考える。